

大津歴史博 だより

湖都大津十社寺・湖信会設立60周年記念・日本遺産登録記念企画展（第77回企画展）

神仏のかたち — 湖都大津の仏像と神像 —

平成30年10月13日（土）～11月25日（日）



降三世明王立像 鎌倉時代 比叡山延暦寺蔵 重要文化財

比叡山の東塔無動寺谷、無動寺明王堂に伝来した「五大明王」のうちの1体。不動明王像が失われたため、現在はそれ以外の4体が一具として伝わっています。リアルに表された肉付きや、はつらつとして躍動感がある作風は、畏怖を表す明王の姿をうまく表しています。着衣に残る鮮やかな彩色・文様も見どころです。

神仏のかたち — 湖都大津の仏像と神像 —

会期：平成30年10月13日（土）～ 11月25日（日）

【休館日：月曜日】

大津は古来より神社仏閣が多く建立され、多くの参拝者が訪れてその旅情を楽しみました。その市内の有名観光社寺である、延暦寺、園城寺、石山寺、近江神宮、日吉大社の賛同を得て、1947年に「二社三寺」連絡協議会が発足し、さらに1958年には、西教寺と岩間山正法寺が加わり「湖信会」が設立されました。その後の大津市と堅田町・瀬田町の合併により満月寺（浮御堂）と建部大社、立木山寺（立木観音）が加わり、現在加盟社寺は10社寺となっています。本年は、この湖信会が設立されて60年の節目の年になります。さらに、2015年と16年には、琵琶湖を中心に広まった信仰や、その恵みにより育まれた暮らしの文化が文化庁によって「琵琶湖とその水辺景観一祈りと暮らしの水遺産」として認められ、延暦寺、園城寺、日吉大社、西教寺、建部大社、浮御堂、石山寺が「日本遺産」として登録されました。そこで大津市歴史博物館では、湖信会加盟10社寺、日本遺産に登録された社寺の名宝を中心として、大津の神社仏閣に伝わる仏像や神像などの宝物を紹介したいと思います。さまざまな姿形を持つ尊像を種類ごとに並べ、「かたち」を見てわかるような展示を行う予定です。



慈覚大師坐像（伝暹賀）
平安時代 西教寺蔵



智証大師坐像
鎌倉時代 園城寺蔵 重要文化財



真盛上人像
室町時代 西教寺蔵 滋賀県指定文化財

企画展「神仏のかたち — 湖都大津の仏像と神像 —」 インフォメーション

会場：歴史博物館 企画展示室 A

観覧料：一般 800 円（640 円） 高大生 400 円（320 円） 小中生 200 円（160 円）

※（）内は前売、15名以上の団体、大津市内在住の65歳以上の方、大津市内在住の障がい者・介護保険の要介護者・要支援者の方の割引料金（証明するものをご提示ください）。

主催：大津市・大津市教育委員会・大津市歴史博物館・公益社団法人びわ湖大津観光協会・湖信会（満月寺〔浮御堂〕・西教寺・比叡山延暦寺・日吉大社・近江神宮・園城寺〔三井寺〕・石山寺・建部大社・岩間山正法寺〔岩間寺〕・立木山安養寺〔立木観音〕の10社寺）・京都新聞



① 満月寺（浮御堂）

[大津市本堅田一丁目]
【日本遺産】

聖観音坐像（通常非公開）
平安時代 重要文化財



⑥ 園城寺（三井寺）

[大津市園城寺町]
【日本遺産】

訶梨帝母倚像
鎌倉時代 重要文化財



② 西教寺

[大津市坂本五丁目]
【日本遺産】

薬師如来坐像（秘仏）
鎌倉時代 重要文化財



⑦ 石山寺

[大津市石山寺一丁目]
【日本遺産】

維摩居士坐像
平安時代 重要文化財



③ 比叡山延暦寺

[大津市坂本本町]
【世界遺産・日本遺産】

四天王立像
平安時代 重要文化財



⑧ 建部大社

[大津市神領一丁目]
【日本遺産】

男神坐像
平安時代



④ 日吉大社

[大津市坂本五丁目]
【日本遺産】

獅子・狛犬（東本宮）
桃山時代



⑨ 岩間山正法寺

[大津市石山内畑町]

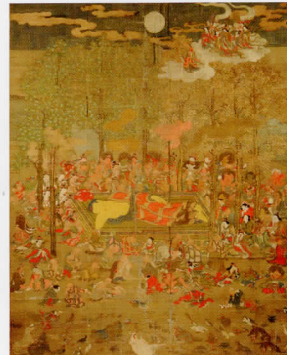
地藏菩薩立像
平安時代 重要文化財



⑤ 近江神宮

[大津市神宮町]

崇福寺塔心礎納置品
白鳳時代 国宝



⑩ 立木山安養寺

[大津市石山南郷町奥山]

仏涅槃図
室町時代

大津の遺跡 和邇・真野地域の古墳

会期：平成30年11月27日（火）～平成31年1月20日（日）
 【休館日：月曜日（祝日を除く）、12月25日、12月27日～1月5日、1月15日】

大津市域には、古墳時代の前期から後期まで多くの古墳がみられます。2016年に開催した企画展「渡来した人々の足跡」では、錦織～坂本の地域に密集する渡来系の特徴を持つ古墳群を紹介しましたが、本展では、この渡来系の古墳群よりもさらに北側に位置する、和邇や真野地域に広がる古墳に注目します。

曼陀羅山の頂上には、古墳時代前期の4世紀代に築かれた、和邇大塚山古墳という全長約72mの前方後円墳があります。また、真野川をはさんで位置する春日山にも全長約65mの前方後円墳が築かれています。古墳時代後期の6世紀代になると、古墳の数は一気に増え、それぞれ百数十基以上の古墳が集まった曼陀羅山古墳群、春日山古墳群が築かれます。これらの古墳群では、錦織～坂本地域の同時期の古墳から多く出土するミニチュアカマドの副葬品などが見つかっておらず、渡来系の古墳群との対比としても注目されています。

また、真野六丁目に位置する真野遺跡からは、直径20m程の円墳に、長さ約8.2mの割竹形木棺を埋葬施設とする真野1号墳が見つかっています。5世紀前半の古墳で、舟形の埴製容器の中に、鉄剣やミニチュアサイズの甲冑が収められるという、一風変わった副葬品が出土しています。

本展では、これらの古墳の出土品を展示し、和邇・真野周辺の古墳の広がりをご紹介します。また、12月10日～2月28日にかけて大津市埋蔵文化財調査センターで開催される発掘調査成果展「大津 むかし・むかへし」では、2017年調査の曼陀羅山古墳群の出土品が展示される予定ですので、ぜひあわせてご覧ください。



写真1 西からみた曼陀羅山
 手前中央は2013～14年度に調査された真野北小学校北側の5基の古墳



写真2 曼陀羅山古墳群第83号墳の石室内（2013～14年度調査）

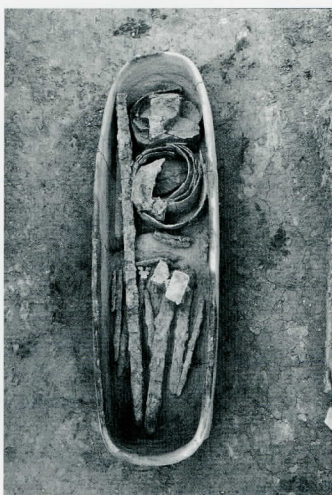


写真3 舟形容器に収められた副葬品【真野1号墳出土】
 （大津市埋蔵文化財調査センター保管）



写真4 真野1号墳の埋葬施設

パリ大津絵展開催記念
シンポジウム
大津絵・民芸・ヨーロッパ

熊倉 功夫氏(MIHO MUSEUM 館長)
×
クリストフ・マルケ氏(フランス国立極東学院院長)

主 催：大津市・大津市教育委員会・大津市歴史博物館
会 期：平成 30 年(2018)12 月 22 日(土)13 時 30 分～16 時
会 場：ピアザ淡海 ピアザホール(京阪石場駅下車徒歩 5 分、びわ湖ホール東隣)
参加費：無 料(事前申込み制)

来年、2019 年 4 月 24 日～6 月 15 日まで、フランスのパリ日本文化会館において、ヨーロッパ初となる大規模な大津絵展「OTSU-E: imagerie populaire du Japon」が開催されます。

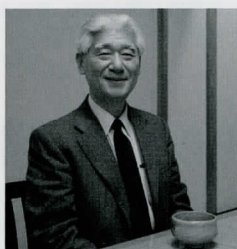
大津のシンボルである大津絵がヨーロッパで大々的に紹介される機会を記念し、熊倉功夫氏とクリストフ・マルケ氏の両先生をお招きして、イベントとしてシンポジウムを開催いたします。

シンポジウムでは、まず、熊倉先生に、民芸運動を牽引した柳宗悦^{やなぎむねよし}の大津絵への関心について、特に、1930 年、ハーバード大学附属フォッグ美術館で開催した「大津絵展」を中心にお話しいたします。彼は前年より欧米を旅し、同大学で講義も行うなど、民芸について積極的に紹介しました。発表では、海外における展覧会のテーマとして、なぜ柳が大津絵を選択したのか、その意図から彼の民芸思想を探っていただきます。

そして、マルケ先生には、戦前のピカソやルロワ＝グーラン、ゴミス、セラに始まる西洋の芸術家や文化人による大津絵収集の傾向から、彼らがどのように大津絵を見ていたのか、さらに、欧州で開催された民芸展によって、ミロやピカソなどの芸術家らが大津絵に出会って影響を受けた点などについて発表いただきます。

両先生に発表いただいた後、近代における日本文化の受容、とくに大津絵の表現がどのように受け止められ、影響を与えたのかという点についてディスカッションしていただきます。そして、現代のパリで大津絵の展覧会が開催されることの意義についても触れていただきます。

登壇者：熊倉功夫氏(MIHO MUSEUM 館長)



※日本文化史、茶道史専攻。主に茶道史や寛永文化研究を主とし、日本の料理文化史や柳宗悦と民芸運動研究も行う。和食のユネスコ無形文化遺産登録を目指す際、検討委員会会長を務める。国立民族学博物館名誉教授。前静岡文化芸術大学学長。



クリストフ・マルケ氏(フランス国立極東学院教授・院長)

※日本近世・近代美術史、出版文化史専攻。フランスで歌麿、葛飾北斎、中村芳中、河鍋暁斎等の画譜の翻訳復刻を出版。近年は大津絵の研究と著作に精力的に取り組み『大津絵民衆的諷刺の世界』を 2016 年に刊行。前日仏会館フランス国立日本研究センター所長。フランス国立東洋言語文化大学教授を経て現在に至る。大津びわ湖 P R 大使。

大津市には、湖信会十社寺以外にもたいへん多くの仏像・神像が伝わっています。展覧会では、そのような湖信会以外の社寺に伝来する尊像もあわせて展示する予定です。



男神坐像（通常非公開）
平安時代 地主神社（葛川坊村町）蔵
重要文化財



聖観音坐像
鎌倉時代 寂光寺（藤尾奥町）蔵
滋賀県指定文化財



如意輪観音半迦像（通常非公開）
朝鮮三国時代 妙傳寺（京都市左京区）蔵



薬師如来坐像（秘仏）
平安時代 法楽寺（大石東）蔵
重要文化財

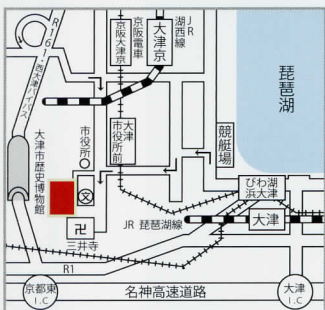


愛染明王坐像（通常非公開）
鎌倉時代 聖衆来迎寺（比叡辻）蔵



阿弥陀二十五菩薩来迎図
鎌倉時代 新知恩院（伊香立下在地町）蔵
重要文化財

ご利用案内



交通機関

- ・京阪電鉄石坂本線「大津市役所前（別所）」駅下車 徒歩約5分
- ・JR 湖西線「大津京」駅下車 徒歩約15分

駐車場 約70台（無料）

常設展示観覧料

| 区分 | 個人 | 団体(15名以上) |
|---------|------|-----------|
| 一般 | 320円 | 250円 |
| 高校生・大学生 | 240円 | 190円 |
| 小学生・中学生 | 160円 | 120円 |

- ◆大津市内在住の65歳以上の方は一般料金の半額。
- ◆市内在住の障がい者の方、市内在住の介護保険の要介護者の方・要支援者の方は無料（証明するものをご提示ください）。
- ◆ミニ企画展は、常設展観覧料でご覧いただけます。
- ◆企画展の観覧料については、その都度定めます。

開館時間

午前9時～午後5時（展示室への入場は午後4時30分まで）

休館日

月曜日（祝日・振替休日の場合は開館し、翌日が休館）
祝日の翌日（土・日曜日の場合は開館）
年末年始（12月27日～1月5日）館内点検（6月中旬）
その他、業務の都合により休館する場合があります。

歴博カードのご案内

当館主催の展覧会を自由にご観覧いただける定期観覧券です。また、当館発行の出版物や催し物の割引、様々な情報のご案内など、多くの特典を設けております。（1年間有効）

| 料金 | 一般 | 高大学 | 小中学 |
|----|--------|--------|--------|
| | 2,000円 | 1,500円 | 1,000円 |

★詳しくは博物館までお問い合わせ下さい。



大津市歴史博物館

〒520-0037 滋賀県大津市御陵町2番2号
TEL 077-521-2100 FAX 077-521-2666
<http://www.rekihaku.otsu.shiga.jp/>

大津歴博だより No.112 平成30年9月15日